

# さかいまち 議会だより

No. 209

令和6年  
8月1日発行



## 姉妹都市ハワイ州ホノルル市との友好親善 アロハシャツで議会開催（6月14日）



6月3日 ホノルル市議会訪問（町長・議会、境町代表団とホノルル市長・市議会議員の会談）

### 目次

- ◆第2回定例会日程及び議決事項 ..... P.2～P.3
- ◆一般質問 ..... P.3～P.7
- ◆議会活動 ..... P.7～P.8

# 令和6年第2回定例会

6月11日～6月14日（4日間の会期）

全議案・原案可決

## 議事日程

日程	議 事
第1日	本会議（開会、町政報告、議案の上程・説明）
第2日	本会議（一般質問、総括質疑、議案の委員会付託）
第3日	常任委員会（付託されました議案の審査、討論、採択）
第4日	本会議（常任委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会）

## 補正予算関係

### 令和6年度境町各種会計補正予算

区 分		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第8号)		147億8,700万円	4,441万円	148億3,141万円
一般会計(承認第9号)		148億3,141万円	712万円	148億3,853万円
一般会計(議案第42号)		148億3,853万円	5億1,634万円	153億5,487万円
特別会計	住宅事業(議案第43号)	5億5,370万円	3億5,047万円	9億417万円
	国民健康保険事業(議案第44号)	28億6,300万円	524万円	28億6,824万円
	後期高齢者医療事業(議案第45号)	6億3,760万円	△644万円	6億3,116万円
	介護保険事業(議案第46号)	19億3,830万円	13万円	19億3,843万円

## 報 告

報告番号	議題名
報告第1号	令和5年度境町一般会計予算事故繰越し繰越計算書について
報告第2号	令和5年度境町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について
報告第3号	令和5年度境町住宅事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について
報告第4号	令和5年度境町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について
報告第5号	令和5年度境町水道事業会計予算繰越計算書について

## 各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (境町税条例の一部改正)	R 6 . 6 . 1 1 即日原案承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度境町一般会計補正予算第16号)	R 6 . 6 . 1 1 即日原案承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて (境町税条例の一部改正)	R 6 . 6 . 1 1 即日原案承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて (境町国民健康保険税条例の一部改正)	R 6 . 6 . 1 1 即日原案承認
議案第39号	境町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 6 . 1 4 原案可決
議案第40号	境町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 6 . 1 4 原案可決
議案第41号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	R 6 . 6 . 1 4 原案可決
議案第47号	財産の取得について (境町大字西泉田地内 23筆)	R 6 . 6 . 1 1 即日原案可決
同意第3号	境町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	R 6 . 6 . 1 1 即日原案同意



令和6年第2回定例会(6/14)



坂東市蕙打  
栗原 恵子 氏

○境町教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求められ、全会一致で即日同意されました。

### 人事案件

## 一般質問

### 1番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)大規模災害に備える携帯トイレ等の備蓄の推進について
- (2)生成AIの活用について

### 2番 議席2番 染谷 直人 議員

- (1)文化・スポーツ大会等参加助成事業について
- (2)移住定住促進を中心とした人口増加策のこれまでの取組と効果について

### 3番 議席3番 枝 史子 議員

- (1)予防接種健康被害救済制度について
- (2)水道管の老朽化について

### 4番 議席12番 斉藤 政雄 議員

- (1)選挙について
- (2)行政区加入について

4人の議員が登壇しました

議席10番

田山 文雄 議員



大規模災害に備える携帯トイレ等の備蓄の推進について

**Q** 能登半島地震の教訓の一つとして、人間の尊厳や命にも関わるトイレの問題が顕在化しましたが、当町における現状と今後の取組について伺いたい。

**A** 当町では、これら災害時のトイレ問題に対応するため、現在、小学校5校、水害避難タワー、広域避難所である町外の公立高校3校の計9カ所に、簡易トイレ1万6,900回分と携帯トイレ2,300回分を備蓄しており、現在の備蓄で十分賄えるものとなっております。今後、当町におきましても、ソーラー蓄電機能や汚水処理技術など独立性を保持し、

平素は町の各イベントにおいても有効に使用でき、災害時には必要な場所へ移動可能なトイレのあり方について、トイレトレーラー等の有効性を見極めつつ検討してまいります。

(町長・危機管理部長)

生成AIの活用について

**Q** 自治体においても、業務効率化・行政サービスの質向上に向けた生成AIの活用が広がっていますが、当町としての考えを伺いたい。

**A** 山形県西川町などがAIの活用について非常に多くのことをやられているので、そこも参考にしながら当町にどのように導入できるか、それを検討していくことが必要と考えていることから適材適所で導入できる部分について、住民の皆さんが便利になる部分、職員負担が減る部分について導入を検討していきたい。

(町長・総務部長)

議席2番

染谷 直人 議員



文化・スポーツ大会等参加助成事業について

**Q** 最近、BMXやインラインスケート等の世界大会で町内在住の選手が活躍し、町民のシビックプライドの向上にも資していると考えられ、さらなる奨励や負担の軽減を企図し、助成額を拡充しても良いのではないかと考えるが、町の考えを伺いたい。

**A** 当町在住の選手が活躍されており、安心して競技に取組める環境の確保も重要であると考えていることから、福岡県内の自治体において移動費は自治体側が持つという事例もあるため、先行事例として参考に研究を行ってまいります。また、7月のパリ五輪には町在住の選手の出場が決定し、初

めての出来事であるため、どのように応援をしていくのか、議会とも相談しながら、検討してまいります。

(町長・教育次長)

移住定住促進を中心とした人口増加策のこれまでの取組と効果について

**Q** これまでの取組と効果について、町の考えを伺いたい。

**A** 人口増加政策として、「働くところ、住むところ、質の高い教育」の3本柱に加え、独自の子育て政策を実施してきました。企業誘致やIC周辺開発、まちづくり公社等による雇用の確保、民間アパートに移住する子育て世帯に対する家賃助成、全国初となる先進英語教育「スーパーグローバルスクール」の導入、20歳までの医療費無料化や給食費の補助等の子育てサポート、移住奨励金など各種補助金等の支援策を実施してきました。

平成25年度までは、人口減少が加速し、社会増減においても減少が続いておりましたが、橋本町長就任後、移住定住促進を中心とし

た人口増加策の効果が人口動態に表れ、平成26年度からの10年間で8年間で社会増となっており、政策の効果は出ていると実感しております。

(企画部長)

**Q** 3月に竣工したマハロタウンについての応募状況や同様の施設の今後のニーズについて、町の考えを伺いたい。

**A** マハロタウン（住吉町／戸建住宅22棟）には、北は山形県から南は沖縄県、さらに海外はベトナムから、合計230件もの入居申込があり、急ぎよ、議会とも相談し、上町地内に5棟を追加し整備を行いました。マハロタウンには、101名（県内10名・県外91名）の子育て世帯が転入しており、第1期からの累計転入者数は350名（県内120名・県外230名）を超えて、令和5年度の社会増減は158名の増加となりました。

テレビでも注目され、年々、移住のニーズは高まっており、特に戸建住宅タイプの反響がかなり大きいため、マンションタイプと戸

建住宅のバランスを考えながら整備をしていきたいと考えております。その際には、定住も重要であることから、既に住んでいる町民の方が一定程度入居できるように枠を設ける等、議会に相談しながら、順次、子育て応援住宅の整備を進めてまいりたいと考えております。

(町長・企画部長)



議席3番

枝 史子 議員



### 予防接種健康被害救済制度について

**Q** 境町では、お1人が新型コロナウイルス予防接種により亡くなり、予防接種健康被害救済制度により給付金が支給された。その他にも1件申請中とのことだが、健康被害を受けているにも関わらず申請できていない潜在的な被害者がいる可能性を考えると、今まで認定された疾病・障害名を公表した上で広く周知した方が良いのではないか。町の見解を問いたい。

**A** 予防接種健康被害救済制度とは、予防接種により健康被害が生じた場合で、この接種によるものと認定された時は、医療費・障害年金等の給付を受けられるというものです。厚生労働省のウェブペ

ージによると、5月20日の疾病・障害認定審査会の審議では、くも膜下出血、脳梗塞、心筋梗塞の疑い、上下肢機能障害等が公表されています。

今後の対応につきましては、接種日が今年3月31日以前であれば、救済請求日が4月1日以降であっても、特例臨時接種として実施された予防接種に伴う健康被害に係る請求ができることから、町のホームページに、厚生労働省当該ホームページのリンクを設営させていただきます。

また、当町独自の救済支援につきましては、県内の各自治体の状況を参考にしながら、調査研究をしてまいりたいと考えております。

(町民生活部長)



### 水道管の老朽化について

**Q** 水道管の老朽化が全国的な社会問題として取り上げられているが、境町でも老朽化がみられる。

古い管は破損による漏水等のリスクが増すと考えられることから、水道水の安定供給を維持していくために、町はどのような対策を考えているかを問いたい。

**A** 当町の水道管は、町内全域23.3kmにわたって布設されていますが、布設後40年以上経過したものは全体の56・9%を占めています。

しかし、布設後40年以上経過しているからといって、すべてが老朽化しているわけではなく、適切な管理を行うことによって使用年数を延長できると考えることから、日頃の点検や漏水パトロール、定期的な排泥作業等の対策を行うことで、水道水の安定供給に努めます。

(町長・建設農政部長)

議席12番

斉藤 政雄 議員



## 選挙について

**Q** 年齢毎（18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～59歳、60歳～74歳、75歳～79歳、80歳以上）の有権者数について伺いたい。

**A** 直近、令和4年7月10日執行第25回参議院議員通常選挙時の年齢別有権者数は、18歳～19歳で計475名、内投票者数は160名、投票率33・68%。20歳～29歳で計2,166名、内投票者数は578名、投票率26・69%。30歳～39歳で計2,430名、内投票者数は808名、投票率33・25%。40歳～59歳で計6,272名、内投票者数は2,798名、投票率44・61%。60歳～74歳で計5,398名、内投票者数は2,870名、投票率54・17%。75歳～79歳で計1,376名、内投票者数は736名、投票率53・49%。80歳以上で2,070名、内投票者数は687名、投票率33・19%という結果でございました。

(選挙管理委員会書記長)

**Q** 選挙期日について、投票日を日曜日と設定している選挙が多いと思われるが、日曜日以外の曜日を投票日とすることも可能であると思われる。広く立候補者の政策を知っていただくため、投票日を月曜日とすることは可能であるか見解を伺いたい。

**A** 投票期日については、公職選挙法により、統一再選挙又は補欠選挙において、一定期間内にこれを行うべき事由が生じた場合には、4月と10月の第4日曜日にそれぞれ投票期日とすることが規定されておりますが、それ以外の選挙については、選挙の種類に応じて公職選挙法により、それぞれ管理する選挙管理委員会の議決を得て投票期日を決定しているところです。北海道夕張郡長沼町では、令和5年2月28日に執行した長沼町議会議員選挙において、火曜日に投票を実施したとのことです。慣例により昭和38年以降の町議会議員選挙において、2月28日を投票日としているとのことで、この投票期日が広く町民に認知されていることと、2月の農閑期に投票期日を設定することがライフスタイル

にあつているとのことです。当町では、町内15か所に投票所を設置して選挙を執行しており、長田第3投票区として長田小学校を投票所としていることから、今後投票期日を日曜日以外とする場合には、投票所の指定を含め、調整・検討が必要になると思われます。

(選挙管理委員会書記長)

**Q** 高齢者の免許返納などにより、投票所に行くことが難しい有権者への支援について伺いたい。

**A** 町内の65歳以上の方の運転免許保有者数は4,554名で、内、昨年度、免許を返納された方は、県運転免許センターによると41名で返納率は0・9%となっております。令和4年12月11日執行茨城県議会議員一般選挙では、県内自治体で高萩市等6自治体が、移動式期日前投票所を設置されており、同市に確認をしたところ、移動式期日前投票所を設置して、山間部の集落センター等8か所を回り、24名の有権者の投票があったとのことです。当町でも、令和4年7月10日に執行された参議院議員通常選挙において、バスを利用

した移動式の期日前投票所を商業施設の駐車場に設置し、55名の有権者に投票いただきました。今後は、行政マースやオンデマンドバスを活用し、地域の公民館等で移動式期日前投票所を設置するとともに、投票率の低い年齢層に向けての啓発も実施してまいります。  
(町長・選挙管理委員会書記長)

### 行政区加入について

**Q** 高齢者（一人世帯）の加入状況について。

**A** 令和6年4月30日現在で、常住人口世帯数10,418世帯中、70歳～74歳までの一人世帯は306世帯、内行政区加入は177世帯、加入率は57・8%。74歳～79歳までの同世帯は280世帯、内行政区加入世帯は180世帯、加入率は64・3%。80歳以上では606世帯、内加入世帯は392世帯、加入率は64・7%。町内全世帯では、10,418世帯、内加入世帯は5,975世帯、加入率は64・5%となっております。  
(町長・総務部長)

### 議会活動

#### ミゲール・ペイドロ画伯来町

現代国際巨匠絵画展が4月27日から29日までの3日間、境町ふれあいの里（ギャラリー夢）において開催にあたり、スペイン出身の画家 ミゲール・ペイドロ画伯が表敬訪問されました。日本とスペイン交流400周年を記念してご挨拶されました。



#### 町村議会議長・副議長研修会

5月21日、東京国際フォーラムホールAにおいて、令和6年度町村議会議長・副議長研修会が開催されました。

研修会には、全国の町村議会から、約2,000名の議長・副議長等が参加されました。住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題について研修会が行われました。



#### 境町と株式会社デベロップとの災害時等における移動式宿泊施設等の提供に関する協定締結式

5月28日、境町と協定を締結した「株式会社デベロップ」は全国各地にコンテナ型ホテルを展開しております。大規模災害時には、必要な量のコンテナを短期間で移動させ、個室等で生活が必要となる方の一時的な避難所として運用することが可能であり、避難生活の質的向上を図ることに期待ができます。



## 境町地域おこし協力隊 委嘱状交付式・新任記者会見

「女子ホッケー日本代表」

永井葉月 選手、「女子プロスノーボーダー」鬼塚雅 選手の、境町の地域おこし協力隊就任に伴う、委嘱状交付式が5月2日に行われました。今後、お二人には、子どもたちに向けた無料体験会やレッスンの開催など、トップ選手の指導が実現されるなど、「スポーツを核としたまちづくり」の推進につながるものと期待しております。



## 境町農業者所得向上拠点 施設落成式

5月17日、町で生産された農作物の集荷、適切な環境での保管や、配送を行う新たな専用施設として、「境町農業者所得向上拠点施設」の落成式が行われました。施設の整備により農作物の安定出荷が可能となり、農業事業者の所得安定や、雇用確保につながるものと期待しております。



## 境町ドローンラボ・ドローン フィールド 落成式

5月28日、ドローンを活用するデジタル人材の育成や、地域の条件に即した国産ドローンの研究開発施設「境町ドローンラボ・ドローンフィールド」が完成し落成式が行われました。

この施設は、これからの次世代高度技術の活用、新スマート物流の構築にドローンの可能性は高く、買物支援など様々な地域課題の解決に期待しております。



## 茨城県西南地方広域市町村 圏事務組合 功労者表彰

5月30日、古河市三和地域交流センターにおいて、令和6年第1回茨城西南地方広域市町村圏事務組合臨時会及び管理者会が開催され、境町議会議員選出の斉藤政雄組合議員が、組合議員10年以上在職した功労者として、針谷 力 管理者（古河市長）より表彰されました。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 染谷 直人 委員 飯田 進  
副委員長 佐怒賀康輔 委員 岩崎 博

〒306-0495 境町3 9 1-1  
TEL.0280-81-1316 FAX.0280-87-5873  
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>